



常陸太田ロータリークラブ

R I 第2820地区

No.13834



HITACHI-OTA ROTARY CLUB

(1960年1月13日設立)

R I 会長方針



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度
国際ロータリーのテーマ

会長 野内 太台克
 例会場 常陽銀行太田支店2F
 例会日 毎週水曜日 / 12:10~13:10
 最終例会18:30 レストランばんび
 会報委員 石川 主税・根本 堅司・橘 幸市

(先週例会) 2023年11月22日 NO. 15

(本日例会) 2023年12月6日例会 (通算 NO. 3029)

本日のプログラム(12月 6日)

- ◎ 月例セレモニー ◎ 会長タイム
- ◎ 幹事・副幹事報告 ◎ 委員会報告
- ◎ ロータリーの友から ☆ 年次総会

◎ 四つのテスト唱和

◎ 会長タイム (野内会長)

こんばんは。鹿志村さん、ご無沙汰しております。今日は例会に出席いただきましてありがとうございます。来年からは例会場が商工会で近くになりますから、ぜひ参加をしていただきたいと思います。

今日は「いい夫婦の日」です。どういう夫婦がいいのかなと思います。皆さんはどうでしょう。和田忠彦会員や小堀会員、大森会員のように金婚式を迎えるまで連れ添うのは素晴らしいことだと思います。私が思ういい夫婦とは、お互いの価値観を認め合って、嫌なところには目をつぶり、足りないところを補い合えるような夫婦かと思います。

ます。私は家内にはいつも補って貰っているばかりなので、どこかで返さなきゃならないと思っています。休みのたびにアッシー君を務めています。今日は帰ってから奥様、旦那様に孝行していただければ、いい夫婦の関係が保てるのかと思います。

先日大谷会員から来年のガバナー補佐の会合がもう始まっているとのお話を聞きました。今年度もロータリー賞を目標に掲げていますが、その中でMy Rotary登録人数をもう少し増やさないと70%という目標に到達できないということでした。当クラブでは現在19名の方が登録済みで、62%となっています。あと3名登録で70%になります。ぜひ登録をお願いします。

◎ 幹事報告 (石川剛幹事)

- ① 11/24 (金) 米山特別寄付とロータリー財団寄付の口座引落し。現金の方は大森会計、幹事、事務局へ。
- ② 回覧…2023-24青少年短期交換プログラム、長期交換派遣学生募集案内

石川剛幹事

FAX 0294-72-2212

E-mail : polo9992yo@yahoo.co.jp

篠原眞智子出席委員長 FAX 0294-72-6056

E-mail : marukatu-kensetu@orange.plala.or.jp

◎ 大森会員より

故横山亮次会員が太田一高へ教育資金を寄付している関係で、太田一高から要請がありました。来年9月にオーストラリアから15人ほどの高校生・中学生が来るので、ホームステイ先を探しているとのことです。ロータリークラブの方で希望があれば、お受けいただきたいとの話です。来年9月21日から26日です。これまで生徒の家庭で受けていたようですが、生徒数が減り、受けくれる家庭が少なくなってしまったとのことです。何名かでも受けてくれるとありがたいとのことでした。細かい条件等はまだ聞いていませんが、今後例会の都度お願いしたいと思います。受け入れてもいいという方は私までお声掛けください。

◎ 卓話（多賀野弘泰会員）

卓話の前にロータリー財団委員会の方からお礼をさせていただきます。今月の財団月間で皆様より多大なるご寄付を頂きましてありがとうございます。先週あたりまでは為替レートは151円前後、ロータリーレートが149円だったので、早く集めて早く出してしまおうと事務局と話していたのですが、現在148円になってしまいました。来月のロータリーレートが安くなっていたらご勘弁ください。

テーマ《常陸秋そば》

「常陸秋そばの誕生、金砂郷在来の復活」

2022年11月開催『常陸秋そばの夕べ』で上映された映像の紹介

- ・常陸秋そばの品種を開発した中川悦男さん
- ・金砂郷在来種を守る取り組みを始めた多賀野さん

「常陸秋そばを支える種子の生産と新たな栽培技術の導入」

茨城県農業総合センター農業研究所 松浦和哉

- ・昨年の作付面積と生産量

茨城県…3,450ha 3,000t

全国の生産量の約半分は北海道

- ・そばは稲作や麦と比べて自然交雑により品種の特性が変化しやすい作物。3、4年に1回新しい種子を県の方から買って更新する。以前は金砂郷の赤土、山方地区で種子を栽培していたが、

足りないので数年前から他地区で栽培するようになった。作付面積が増えたことと、高齢化で栽培をやめてしまうことが原因。「採れた種子を試験的に蒔いて、ちゃんとしたそばが採れたか確認したか」という質問に県の方からは返答なし。

守ってきた品質が危ない。

- ・黒化率 コンバインで刈る時には黒く成熟してから。落ちる実も多く、採れる量が少なくなる。手刈りは黒化率60～70%で刈り取り、干して成熟させ脱穀する。味も良い。

7割くらいの黒化率で早刈りした緑色のそばを新そばとして東京方面のお客さんが欲するので、増えてきた。

- ・春そば 県西、県南地区で春蒔きの“北早生”を栽培。6月末～7月に刈り取り、落ちた種子を処理せずに秋そばを蒔くので、交雑してしまう。東京方面のお客さんのため、自分の儲けのため、作っている。常陸秋そばの品種を開発した側としては残念なこと。
- ・常陸太田のそばまつり 1月～3月半ばまで『謎解き宝探し』スタンプラリーの形で開催
- ・伊勢又米穀製粉㈱では在来種を栽培しています。出来れば、常陸太田だけの金砂郷在来ということを出せればいいと思っている。

◎ ニコニコボックス（篠原眞智子委員長）

共通テーマ

「多賀野さん、会員卓話楽しみにしています。」

14名

今週計 14,000円

累計 468,000円

◎ 出席委員会報告（塩原委員）

全会員数	出席者数	免除者欠席数	出席率
29名	17名(mu)	2名	62.96%

前週訂正出席率 -.% (マイクアップ -名)